

平成 26 年度植物友の会活動記録

平井健一郎

はじめに

植物友の会は、一般から募集した植物に興味を持つ人達の集まりで、植物公園を活動の場として植物愛好者が集い、植物・園芸に関する知識・技術の向上を図り、自然保護の心を育てることを目的に、昭和 54 年 10 月に設立された会である。

会費は、個人会員が年額 2,000 円、家族会員が年額 3,000 円、企業等の賛助会員が年額 5,000 円となっている。平成 15 年度からは 10 月 1 日以降に入会の場合は、年会費を半額にする規定を設けていて(賛助会員は除く)、今年度 10 月以降の入会はなかった。

平成 26 年 12 月現在、会員数は個人会員が 119 (△12) 人、家族会員が 20 (+2) 組 48 人、企業等の賛助会員が 9 (△1) 団体である。() 内は昨年度からの増減会員数、△は減。

活動 (表 1・2・3)

今年度の友の会事業執行報告を表 1 に記す。年間計画は従来、会誌『はなの輪』の 1 ページとして掲載していたが、一昨年度から参加を促すことや失念を防ぐ対策として、掲示しやすいよう B4 版の一枚ものとして発送している。今年度も『はなの輪』の原稿として組み入れず、掲示しやすいよう B4 版のウグイス色紙としてしている。例年第 1 回例会開催通知時会員証を共に送付していた。一方、3 園共通年間パスポート ¥1,500 に対し、友の会会費は個人 ¥2,000、家族 ¥3,000 で、入園無料となるのは友の会行事のあるときのみである。昨年度は友の会行事のない偶数月のみ友の会講習会としていたが、今年度は毎月第二火曜日第四土曜日にガイドボランティアを案内役に開催している『季節の花さんぽ』全てを友の会講習会として取り扱うこととし、会員証掲示することにより無料で入園できる機会を増やし、友の会入会のメリットの増大に努めた。例年 4 月下旬、第 1 回例会通知と共に会員証を送付してきた。一方、『季節の花さんぽ』を今年度も友の会講習会として取り扱うこととした。そこで『季節の花さんぽ』4 月開催日までに会員証を会員に届ける必要があるため、

講習会『季節の花さんぽ』開催のお知らせ／季節の花さんぽ実施計画(両面印刷)、平成 26 年度事業計画(B4 うぐいす色紙両面印刷)と共に、また対象者には管理ボランティア登録証も併せて 4 月 5 日、全会員に送付した。

(1) 例会・運営委員会



写真 1 春の野外観察会報告

2 ヶ月に 1 回、植物公園で開催する。内容は、毎例会はじめに事務連絡として観察会や講習会、管理ボランティアへの参加呼びかけをお伝えした。それに続き、野外観察会報告・海外植物調査報告・園内観察などを主題の内容とした。園内観察につ



写真 2 第 4 回例会園芸作業

いては午前中園内を下見した委員より助言を受け、コースを検討した。案内はガイドボランティアを兼任する委員も多く、



写真 3 5 月例会時種苗交換

観察場所に適任

と思われる運営委員が務めた。

第 1 回例会では、5 月なので屋外の園内観察にはうってつけの時期であることから、温室の園内観察はせず、屋外のみとし、ログガーデンのバラ、ツツジ・シャクナゲ園、バラ園、日本庭園のエビネ、ハギ園のハリエンジュやハナエンジュ、樹林観察園のコガクウツギやジャケツイバラ、香りの小径のナンジャモンジャ、トウオガタマを観察した。参加者を樹林観察園まで入っ

ていく健脚コースと舗装された園路から観察する観察舗装路コースの2班に分けた。参加された会員は健脚コース13名が観察舗装路コース8名を超え、盛況であった。

第2回例会では、秋の観察会も同じ場所で開催する計画であることから秋の参加を促す目的もあり、山口県美祢市の秋吉台で開催した春の観察会を報告した(写真1)。これに続く園芸作業では温室/屋外植物のいずれかを選択の上、御参加いただいた。

第3回例会では園芸作業に続き、見頃を迎えた植物の多い屋外のみ園内観察とした。芝生広場のムラサキナツフジ、ロックガーデン、ハギ園を案内した。

第4回例会では主題「秋の観察会報告」に続き、園芸作業と園内観察を選択した上での参加とした。従来、主題に続くプログラムは、温室植物・屋外植物の園芸作業・園内観察の3点を選択肢としていたが、講師を依頼していた栽培・展示課の西澤主任技師から「以前は温室と屋外のどちらも聴くことができたのに、今はできないのか?」との申し出を受け、「園芸作業」と「園内観察」の選択とし、園芸作業では屋外植物に続き温室植物の説明を丁度1階展示場で開催していたコーヒーと紅茶展会場にて行った(写真2)。園内観察は紅葉の見頃となったカイノキ、ニッサ、ニシキギや開花中のコダチダリアを案内した。

また、例年同様例会会場である講堂入口付近において会員同士で余剰苗の種苗交換なども実施された(写真3)。

恒例の毎例会の開催前11:30から運営委員会を開催し、当該例会での連絡事項・内容について打ち合わせを行い、それらの決定事項を盛り込んだプログラムを作成・印刷・頒布した。例会後には次回例会内容を含めて今後の事業の執行計画や予算、イベントに参加した結果報告や会の運営などについて毎回検討・協議した。



写真4 草木染講習会

(2) 講習会 (年1回)

9月の例会前に開催する友の会作品展への多数の出品を促すため、例年8月に2回の講習会を開催していたが総会に向け年間行事を検討する際、運営委員から「今年(平成26年度)は展示会場が埋まる多くのクラフト作品がある」との申し出を受け、今年度は草木染の1回のみ開催することとした。例年すっかり恒例となった草木染を藤井かおり・白井まり子両氏を世話役に、今年度は丁度大温室で剪定した『ドンベヤ』を染料として開催した(写真4)。

一昨年からガイドボランティアによる『季節の花さんぽ』を、友の会講習会としてきた。参加者から「昼食を食べて参加すべきか終わってから食べるべきか悩みどころ」との声があることから、今年度は午前11:00~12:00に開催時間が変更された。

(3) 観察会

例年は年2回春と秋に、日帰りで近郊の野山の観察を実施、野外観察会が友の会入会の動機が多いことから、会員の満足度アップのため平成23年度からは現地集合・解散する第3回野外観察会を開催している。

第1回・第2回の観察会はいずれも山口県美祢市『秋吉台』で開



写真5 秋の野外観察会 秋吉台

催した。第1回となる春の観察会は、5月25日(日)長者ヶ森駐車場を起点にカルスト展望台まで、広島大学大学院理学研究科、山口富美夫教授を講師に迎え催行し、30名の参加があった。後日5月31日同観察会での記録写真を中島会長から受け取る際、会長より「先日(3月27日)公益財団法人広島市みどり生きもの協会評議会開催時(講師を務めていただく)中坪先生に会った。観察会の場所について、大正洞や景清洞方面なら春の長者ヶ森と違って水気があるので、違った植物が観察できて面白いのではないか!?と、話をした」旨を承った。

年間事業を計画する段階では、秋の観察会の

コースについて明確には決定していなかった。先述の中島会長の助言を受けて、事前調査では大正洞界隈のコースを検討した。その結果、秋の観察会は大正洞駐車場を起点とし、樹林帯を登りドリーネ、ススキ野原を経て、少年自然の家へ下るコースとした(写真5)。講師を務めていただく中坪教授の希望された9月26日(金)に開催したが、参加者は春の参加者より少ない24名と振るわなかった。後日運営委員会でも参加会員の少ない傾向が続いていることについて検討したが、秋はいろいろ地区の行事と重なったことによる、との御意見も頂いた。開催時期の秋は学会などで講師の先生方も多忙であるため、参加者が多いと思われる土日に日程を調整するのが大きな課題となっている。

平成22年度に実施したアンケート調査から、野外観察会が友の会入会の動機である会員が回答会員の18%と多かった(栽培記録第32号 平成23年3月に結果を掲載)ことから、現地集合・解散・事前申し込み不要で気軽に参加できる観察会として第3回を平成23年度から開催(第1回は宮島を環境省宮島地区パークボランティア6名により解説)している。平成26年度は、当園のなかなか目にすることができない境界やバックヤードを事務局の管理課企画広報係主任技師平井が案内した。友の会会員だけが見ることができる点を特典として会員に通知・広報したが、11名の参加に留まった。また、会誌『はなの輪』での第3回野外観察会報告は、毎度事務局が報告してきたが、中島会長始め御参加いただいた運営委員から「講師が書いては。。。」とお声かけいただき、運営委員の福田氏に執筆いただいた。会誌『はなの輪第142号 春号』に報告を掲載している。

(4) 展示会

年1回秋に、会員が普段取り組んでおられる鉢物(山草部会員等)や写真、クラフト、絵画などを出品していただき、友の会作品展として開催している。

今年度は9/13(土)～特別企画展開催に伴い、友の会作品展が一週間繰り上がり9/2(火)～7(日)開催となった。これに併せて例会開催日を展示会最終日の第一日曜日の9/7とした。

9/1(月)午前中はサマーフェアの撤収作業に



写真6 会場設営9月1日



写真7 作品展設営草木染



写真8 作品展山草部会



写真9 作品展写真



写真10 作品展草木染クラフト



写真11 ロビー展

職員の人員が取られたため全く会場準備に取り掛かれる状況になかったが、丁度同日朝から『はなの輪』の発送作業に要請し、管理ボランティアとして御来園いただいていた会員や午前中出品する山野草を持ち込まれた山草部会員により会場設営がなされ、午後のお品物の搬入・飾付を行うことができた。正に会員による会場設営から出品・飾付となった(写真6～7)。御協力いただいた会員の方に、この場を借りてお礼を申し上げる。

午後からの搬入までは、山草部会員を始めとする会員らが平素から育てている山野草の鉢花や、植物のみに留まらず昆虫についても造詣が深く、個人でも地元の公民館等で展示会を行っている会員からユニークな写真も多く出品された。そのほか草木染(今年度講習会で制作した作品含む)、作り貯めてきた木の実のクラフト・毎展示と同様会誌『はなの輪』のバックナンバーも併せて展示した(写真8～10)。

また山草部会においては、5月の例会に合わせて、前日の土曜日と当日日曜日にロビー展を開催した(写真11)。普段自宅で栽培している山野草の中から、丁度見頃となった鉢物を中心に数多く出品され、販売用に育てられた苗物も臨時売店で販売された。

(5) 園内ボランティア (表3)

植物公園において、第1・第3火曜日を定期的な活動日として『友の会花壇管理』を主の活動内容とし、栽培・展示課から要請があった場合のみ、そちらの作業に従事することとしている。今年度は「サクラソウ展」「カスケードのハンギングバスケット」「クリスマス飾るフラワー展」「チューリップ植え付け」「春をよぶラン展2015」に御協力いただいた(写真12～14)。

クラフト制作については例年同様に、普段から時間があるときは園内のクラフト材料の採取に努め、小学校自然体験学習や秋のグリーンフェア(G.F.)やメモリアルフェア等のイベントでの友の会コーナーにおけるクラフト講習会に備え、本年も小



写真12 サクラソウ展臨時売店
4月19日



写真13 ハンギングバスケット作り



写真14 みどりの日友の会ブース
5月4日



写真15 秋のG.F.写真撮影スポット設置

学校の自然体験学習として木の实を使ったクラフト作り(松ぼっくりを使った毛糸の羊やタケで作るゆらゆらシーソー)を制作・指導し、植物公園の業務に大きく貢献している(表3)。

『秋のグリーンフェア』においては、昨年日本ハンギングバスケット協会広島・島根合同支部とIWAD環境福祉専門学校により成された記念撮影コーナーの設置・飾り付けを、今年度は友

の会が担当することとなった。藤井会員を中心に管理ボランティアが担った(写真15)。藤井会員においては、作業当日までカメラ撮影者や被写体となる対象者の立ち位置について、検討を重ねていただき、G.F.運営に大きく貢献した。

年間6回以上管理ボランティア活動に参加している会員に管理ボランティア登録証を発行し、登録証提示により、駐車料免除等の特典を付帯している。平成26年度は19名(うち3名が新たに登録)が管理ボランティアとして登録されている。今年度は新しい方が参入され、『管理ボランティアへの参加』が入会動機の方もおられる。

(6) 会誌の発行 (表2)

会員が撮影した写真を用いた表紙に、植物に関する海外調査報告や会の山草部会や管理ボランティアの活動、植物の栽培方法などを載せた会誌『はなの輪』を年4回発行、会員に配布している。今年度は平成26年1月の第5回例会時運営委員会において中島会長始め委員諸氏から全面カラー化の強い要望を受け、予算額内で全面カラー化するため、2色原稿となる「広島自然散策」「山下博志の『自然からの贈り物』」「日本庭園の守人のつぶやき」の3タイトルを外し、全16ページとした。印刷の都度印刷業者3社の見積合わせにより業者を決定・印刷を依頼した。会員からは野外観察会申込ハガキ受け取り時、記事内容が減じることを惜しむ声も見られた。

一方でバックナンバーの在庫が膨らんでいる。このため、新入会員には前年度一年度分4冊と当年度分の会誌のバックナンバーを、展示会の共催団体へは出品記念品に加えて在庫の多いバックナンバーを贈呈し、この懸案の解消に努めた。

(7) 部会

友の会部会活動は現在山草部会の一部会のみである。

山草部会は、年2回野外観察会や展示会、2ヶ月に1回友の会例会前の午前中に例会を開いている。栽培・育成した苗物の販売等臨時売店も展示会や例会で開いている。部会活動は事務局の運営下ではなく自主的に運営されている。

(8) 友の会花壇

(5) にて先述したように、平成 25 年度から管理ボランティアは友の会花壇管理を主の活動内容とし、栽培・展示課の管理作業へは要請があったときのみとしている。

花壇管理では、藪中元会員（2013 年死去）の御親族から、管理ボランティアとして永きに渡り共に活動してきた藤井氏ら有志へのお礼としての寄付金でコンテナを購入し、予てからの懸案事項であったギボウシ類の品種が区別できるよう植栽を改善した（写真 16）



写真 16 友の会花壇～コンテナ埋設による品種株分別

表 3 平成 26 年度管理ボランティア活動記録（平成 26 年 4 月～ 12 月）

活動月	活動内容	参加人数
4 月	チョウ観察・撮影、ペゴニア温室周り花がら摘み、ペゴニア温室管理手伝い、クラフト用木の实拾い、アジサイ管理、書類発送補助、花さんぽ手伝い、サクラソウ展補助、ログハウス周り管理	55 名
5 月	チョウ観察・撮影、みどりの日クラフト講習会、山草部会ロビー展臨時売店、花さんぽ、クリスマスローズ花ガラ摘み、ペゴニア植替え、アジサイ管理、クラフト材料拾い	41 名
6 月	ペゴニア花がら摘み、バラ・ハナショウブ写真撮影、チョウ観察・撮影、栽培温室管理、ペゴニア温室管理、アジサイ管理、花さんぽ、クラフト講習、ハンギングバスケット制作	31 名
7 月	チョウ観察・撮影、書類発送作業、友の会花壇手入れ等の管理ボランティア、ペゴニア温室、花さんぽガイド、アジサイ管理	30 名
8 月	アジサイ管理、友の会作品展準備、花さんぽ、チョウ観察・撮影、草木染、管理ボランティア	17 名
9 月	友の会作品展準備、書類発送、チョウ観察・撮影、花さんぽ、グリーンフェア会議、グリーンフェア写真撮影スポット設営、アジサイ管理	37 名
10 月	グリーンフェア準備・本部補助。片づけ、チョウ観察・撮影、花さんぽ、アジサイ管理、クラフト講習	61 名
11 月	メモリアルフェア、チョウ観察・撮影、花さんぽ、アジサイ管理、団体ガイド、クラフト、夜間開園リハーサル（キャンドル点灯）	37 名
12 月	野鳥観察・撮影、花さんぽ、管理ボランティア	16 名

表1 平成26年度植物友の会 事業執行報告

月 日	事務事業	場 所	内 容		備 考
平成26年 4月5日(土)	会員証・講習会①案内 発送	園芸相談室	花さんぽ①案内・会員証配布 前会員で未加入の方へ再通知送付 管理ボランティア証配布		職員 1名
4月8日(火) 11時~12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(桜とモクレンの仲間)		講師: 藤井 かおり(会員) 会員 10名
4月14日(月) 9時~10時30分	例会①等の 案内発送	植物公園 小会議室	例会① 観察会①参加者募集 べ切 5/8(木) 講習会①参加募集 べ切 5/8(木) 運営委員会開催案内		職員 1名 会員 3名
4月26日(土) 11時~12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(菊桜とハンカチノキ)		ガイドボランティア 会員 16名
5月4日(日・祝)	講習会ボ ランティア	大温室前広場	みどりの日 記念行事	クラフト教室、活動紹介	会員
5月9日(金) 9時30分~12時	山草部会 展示準備	展示資料館 ロビー	山草部会展示物搬入		職員 1名 部会員
5月10日(土) ~11日(日)	山草部会 ロビー展 示	展示資料館 ロビー	山草部会展示		部会員
5月11日(日) 13時20分~15時	例会①	植物公園講堂及 び屋外	園内植物観察 (園路観察コースと健脚コース=いずれも屋外)		職員 2名 会員 37名
11時30分~12時 15時~16時	運営委員会	植物公園 小会議室	事業の執行について		職員 2名 運営委員 6名
5月13日(火) 11時~12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ (ナンジャモンジャとツツジの仲間)		原田澄子ガイドボランティア(会員) 会員 8名
5月24日(土) 11時~12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(初夏の花木と遅咲きのバラ)		若宮桂子ガイドボランティア 会員 13名
5月16日(金)	観察会① 事前調査	山口県	秋吉台(山口県) 長者ヶ森~秋吉台博物館		山口富美夫教授(広島大学大学院) 職員 3名
5月25日(日)	観察会①		山口富美夫教授(広島大学大学院) 職員 3名、会員 30名		
6月10日(火) 11時~12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(ハナショウブと菩提樹の花)		原田澄子ガイドボランティア(会員) 会員 14名
6月28日(土) 11時~12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(アジサイと夏の花木めぐり)		若宮桂子ガイドボランティア 会員 11名
7月1日(火) 8時50分~11時	はなの輪 139号及び 例会②等の 案内発送	植物公園 小会議室	はなの輪第139号 例会②・花さんぽ③案内 講習会①②参加募集 植物友の会作品展出品申し込み案内 運営委員会開催案内		職員 1名 会員 3名
7月8日(火) 11時~12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(ネムノキと夏の花木)		灰田ガイドボランティア 会員 6名
7月13日(日) 13時20分~15時	例会②	植物公園講堂	春の野外観察会 報告 園芸作業及び園内植物観察		職員 4名 会員 29名
11時30分~12時 15時~16時	運営委員会	植物公園 小会議室	事業の執行について		職員 2名 運営委員 5名
7月26日(土) 11時~12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(ヒゴタイと真夏に咲くアジサイの仲間)		藤井かおり 会員 9名
8月12日(火) 11時~12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(蓮華ショウマと涼しい温室めぐり)		原田澄子ガイドボランティア(会員) 会員 8名
8月23日(土) 11時~12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(サギソウとショウガの仲間めぐり)		若宮桂子ガイドボランティア 会員 6名
8月26日(火) 9時~15時	講習会①	植物公園講堂	草木染『ドンベヤ』		藤井かおり会員、白井まり子会員 会員 7名
9月1日(月) 9時~10時	はなの輪 140号及び 例会③等の 案内発送	植物公園 小会議室	はなの輪第140号 例会③・花さんぽ④案内 観察会②参加者募集 運営委員会開催案内		職員 1名 会員 4名
9月1日(月) 11時~ 13時~15時30分	展示準備	展示資料館	午前: 会場設営 午後: 植物友の会作品展搬入		職員 1名 会員 午前 6名 午後 13名
9月2日(火) ~7日(日)	展示会	展示資料館	植物友の会作品展		会員 18名
9月7日(日) 13時20分~15時	例会③	植物公園 講堂	秋の園芸作業 と 園内観察会		職員 3名 会員 34名
11時30分~12時 15時~16時	運営委員会	植物公園 小会議室	事業の執行について		職員 2名 運営委員 6名
9月9日(火) 11時~12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(オオモクゲンジと彼岸花の仲間)		原田澄子ガイドボランティア(会員) 会員 9名
9月27日(土) 11時~12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(秋の山野草と萩の花めぐり)		藤井 かおり会員 会員

9月12日(金)	観察会② 事前調査	山口県	秋吉台(山口県) 大正洞～少年自然の家	中坪 孝之教授 佐々木 晶子助教(広島大学大学院) 職員 3名
9月26日(金)	観察会②			中坪 孝之教授 佐々木 晶子助教(広島大学大学院) 職員 4名、会員 24名
10月4日(土)～ 5日(日)	講習会 ボランティア	大温室前広場	秋のグリーンフェア 友の会コーナークラフト制作	4日 3名 5日 4名
10月5日(日) 9時45分～ 14時35分	管理 ボランティア	イベント広場	本部わいわいキッズコーナー補助	会員 1名
10月7日(火) 10時00分～ 15時30分	管理 ボランティア	イベント広場	本部(わいわいキッズコーナー)補助	会員 1名
10月14日(火) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(原種シクラメンと紅葉のはじまり)	原田澄子ガイドボランティア(会員) 会員 5名
10月25日(土) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(イトラッキョウとホトトギスの仲間)	藤井 かおり会員 会員 9名
10月29日(水) 8時50分～11時30分	はなの輪 141号及び 例会④等の 案内発送	植物公園 小会議室	はなの輪 141号 例会④案内 観察会③参加者募集 運営委員会案内	職員 1名 会員 2名
11月3日(月・祝)	講習会 ボランティア	大温室前広場	メモリアルフェア クラフトコーナー	クラフト 7名
11月9日(日) 13時20分～15時	例会④	植物公園講堂及 び屋外	園芸作業及び園内植物観察	職員 3名 会員 23名
11時30分～12時 15時～16時	運営委員会	植物公園小会議室	事業の執行について 平成27年度事業計画検討	職員 1名 運営委員 5名
11月11日(火) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(カエデ園の散策)	藤井 かおり会員 会員 10名
11月22日(土) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(木立ダリアと紅葉めぐり)	原田澄子ガイドボランティア(会員) 会員 5名
12月6日(土) 10時～	観察会③	植物公園内	どこまで行けるかっ?! ず～っと奥まで植物公園	事務局 平井健一郎 会員 11名
12月9日(火) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(温かい温室で熱帯の植物を)	若宮桂子ガイドボランティア 会員 6名
12月24日(水)・ 25日(木)	例会⑤ 案内発送	植物公園 小会議室	例会⑤案内(年賀状) 運営委員会開催案内(FAXほか)	職員 1名
平成27年 1月6日(火)	運営委員会 案内送付	植物公園	運営委員会開催案内(FAX・TELにて)	職員 1名
1月13日(日) 13時20分～15時	例会⑤	植物公園講堂	講演会「海外植物調査」(案) 冬の園芸作業	職員 3名 会員 36名
11時30分～12時 15時～16時	運営委員会	植物公園 小会議室	事業の執行について 平成26年度事業報告 平成27年度事業計画案作成	職員 2名 運営委員 6名
1月13日(火) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(ピンクボールと真冬に咲く花めぐり)	若宮桂子ガイドボランティア 会員 7名
1月24日(土) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(ソシンロウバイとナナミノキ)	原田澄子ガイドボランティア(会員) 会員 11名
2月10日(火) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(マンサクと早咲きの梅)	若宮桂子ガイドボランティア 会員 5名
2月24日(火) 9時～	はなの輪第 142号及び 例会⑥等の案 内発送	植物公園小会議室	はなの輪第 142号 例会⑥案内 総会開催案内 運営委員会開催案内	職員 1名 会員 2名
2月28日(土) 11時～12時	花さんぽ⑤	植物公園内	季節の花さんぽ(節草と春咲きクリスマスローズ)	若宮桂子ガイドボランティア 会員 7名
3月1日(日) 13時20分～15時	例会⑥	植物公園講堂及 び屋外	総会 春の園芸作業及び園内植物観察	職員 2名 会員 34名
9時～10時	運営委員会	小会議室	総会・第6回例会の進め方	職員 1名 運営委員 5名
3月10日(火) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(しだれ梅と春黄金花)	会員(ガイドボランティア)
3月28日(土) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(ヒスイカズラと早咲きの桜)	会員(ガイドボランティア)

(変更) 今年度の ガイドボランティアの「季節の花さんぽ」は、午前中に時間を変更して実施(年23回)

表2 会誌「はなの輪」の発行

平成26年6月	2014通巻139号(夏号)	平成26年8月	2014通巻140号(秋号)
平成26年10月	2014通巻141号(冬号)	平成27年3月	2015通巻142号(春号)